

県下の交通事故 (8月24日現在)

| 区分  | 事故件数   | 死者     | 傷者     |
|-----|--------|--------|--------|
| 62年 | 3,063件 | 56人    | 4,056人 |
| 63年 | 3,204件 | 78人    | 4,169人 |
| 比較  | +4.6%  | +39.3% | +2.8%  |



第81号

発行所  
甲府市丸の内一丁目6-1  
財団法人 山梨県交通安全協会  
TEL 甲府 (0552) 37-7827



寝不足でハンドル持つな 持たせるな

無謀運転をやめよう

正しい交通ルールとマナーの向上を

秋の全国交通安全運動

9月21日～9月30日

秋の交通安全運動は、九月二十一日から三十日までの十日間、全国一斉に実施されます。本県では、①子供と高齢者(特に高齢者)の交通事故防止 ②運転者(特に若年運転者)の無謀運転の防止 ③正しい方法によるシートベルト・ヘルメットの着用 ④飲酒運転の絶対防止を重点として運動を進めることにしました。本年は、高齢者の交通事故が増加傾向のために九月二十一日から二十日まで全国一斉に高齢者交通安全週間が行われますが、これに続いて秋の運動が実施されます。県内の本年上半期の交通事故は、前年に比し死者は二十一人(一・二%)と発生件数、傷者ともに大幅に増加し、観光期を迎えて事故の多発が憂慮されます。正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけて、県民の命を守ることに努めます。

みんなので守ろう

子供と高齢者

県交本部がきめた運動の重点項目と、おもな実施事項は次のとおりです。

- 一、子供、高齢者の特性に防止するための適切な交通安全教育・指導の徹底
- 二、街頭における啓発・指導、保護、誘導活動の強化
- 三、自乗車の点検・整備の励行
- 四、高齢運転者に対する適正診断の推進
- 五、高齢者交通安全クラブの結成の促進
- 六、老人クラブ等における交通安全活動の日常化の徹底



安全のために  
大きな問題の一つは、世界の願い交通安全でいむなしく、ことしの県内の七月末現在の交通事故発生件数は、二八三三件で、昨年同様に比べ一〇三件増加し、交通事故による死者は、六七七名で、これも一七名の増加となり、急増の一途をたっています。ちなみに、ことし六月末現在の死亡事故者は五九名で、昨年同様に比べて二〇名、五一・三%増となりました。これは、全国第一位の増加率であり、極めて憂慮すべき情勢です。

県では、七月九日から八月三十一日までの五十四日間、夏の交通事故防止県民運動と並んで、交通死亡事故抑止緊急対策を発令、県民総ぐるみで死亡事故抑止のために取り組んでいます。一日も早く、交通事故のない日を迎えたいものです。私も交通安全協会の役員として、三十年余りになり

ですが、この間交通事故で口を願ひ、また事故のない明るい社会づくりを望み、微力ではありますが努力して今日に至りました。交通関係に携わる者の一人として事故の急増は残念でなりません。戦後著しい経済社会の進歩発展にともない、現在では、車は離すことの出来ない生活必需品ですが、一方

生きた老人を交通事故から守るため、高齢者教育等に重点を置き、各町村の協力を頂き、それぞれ交通安全クラブを結成しました。安全運動期間中には、街頭指導を始め知名人をお呼びして、一日警察署長をおねがひし、また交通安全宣言大会などを催し、石和警察署管内の住民に広く訴えて来ました。

石和警察署管内は、中央道のインターをはじめ国道が二本、バイパス・県道・公域農道等あらゆる道路が入り乱れ、また石和温泉郷を控える年間数十万人の観光

客がそれぞれ車できており、非常に危険の状態が続いております。このような交通環境の中で、石和警察署管内の交通事故発生状況は、七月末現在の事故数は、一五九件で、昨年同様に比べ二件の増加であり、死亡事故は三名で、増減はなく、怪我人は二三名で、一〇名の減少となっております。良い状態を今日を

迎えています。しかし、乗客は許されません。このような成績を残すことが出来たのも、ひとえに石和警察署をはじめ、当交通安全協会役員七百余名、また交通安全関係団体のそれぞれの方による日夜を問わない協力指導の賜と感謝しています。県内の交通事故、とくに死亡事故を減らすためには、八十四万県民の総てが、交通事故防止に対して再認識し、交通法令を厳守し、交通事故防止に努めなければなりません。われわれ交通安全協会に課せられた使命と役割は重大です。それぞれ交通安全協会役員全員が、十分に理解と自覚をもって、いっそう減らない交通事故を抑止するため、粘り強く運動を展開することによって、その成果が期待されます。最後に、県民総ぐるみの手によって、一日も早く交通事故のない社会を迎えることが出来ますよう、心から祈念し御期待申し上げます。

事故防止のために

石和交通安全協会会長 小笠原良一



運転者(特に若年運転者)の無謀運転の防止

正しい交通ルールの実践とスピードの出し過ぎなど無謀運転を防止するために、無謀運転による交通事故防止

- (一) 安全運転の励行(安全速度を守る、カーブ・交差点での徐行、歩行者の安全確保)
- (二) 家庭、職場、地域ぐるみによる無謀運転・暴走行為の追放
- (三) 若年運転者に対する交通安全教育・指導の強化
- (四) 車の特性を知った正しい乗り方の指導



信玄公が見守るあなたの交通マナー

正しい方法によるシートベルト・ヘルメットの着用の徹底

交通事故発生時の被害軽減と安全意識の高揚を図るために

- (一) 正しい方法による着用と着用効果の啓発の徹底
- (二) 非着用者に対する着用指導等の徹底
- (三) 家庭、職場、地域ぐるみによる着用運動の強化

飲酒運転の絶対防止

飲酒運転を絶対防止するために、飲酒運転四ない運動の推進(運転する人らに飲まない、運転する人には飲ませない、酒を飲んだら運転しない、飲酒運転は許さない)

- (一) 飲酒運転の抑止による飲酒運転の抑止
- (二) 酒類提供業者の協力による飲酒運転の抑止
- (三) 家庭、職場、地域ぐるみによる酒を飲まない話し合い

交通安全年間の推進

交通安全年間の推進

- (一) 市街地・観光地等における交通渋滞の解消(違法駐車等の排除、気運の醸成)
- (二) ノーマイカー運動の推進
- (三) 道路交通環境の点検・整備の促進
- (四) 「無車検」「無保険」車両の追放
- (五) 道路交通に関する情報の提供と効果的な広報活動の強化

昭和63年 スローガン  
● 運転者・同乗者に対するもの  
● 歩行者・自転車乗用者に対するもの  
● 子供の手  
● 安全へ つなぐ 古いの  
● 無灯火は 乗る人見る  
● 手まっくらけ

交差点

今年、六月八日に梅雨入り宣言があつてからうとうと長い長雨が続き、とくに西日本では数百ミリの大雨で被害が出るなど、早い梅雨明けが待たれましたが、ようやく七月三十一日関東甲信地方も梅雨明け宣言となり、列島も猛暑の夏を迎えました。

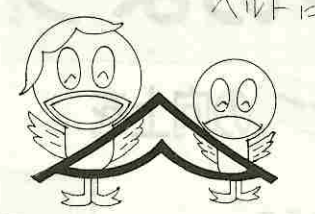
「上を向いて歩こう」歌ではないが、甲府駅前通りの樺並木を見上げると、大きく枝を広げて濃い緑の葉がひときわ美しい。ゴッホの「ひまわり」が日本にきて以来、服の柄にまで登場したひまわりも夏の太陽に照らされて、私共の目を魅了してくれました。

▽さる七月二十三日午後、東京湾入口近い浦賀水道で海上自衛隊の潜水艦「なだしお」と大型釣船「第一富士丸」が衝突し、四十八人をのせた釣船はわずかに二分位で沈没して民間の三十人もの尊い人命を失う大事故が発生しました。まさに海上自衛隊史上はじめてのことでしよう。

国を守り国民の命を守るはずの自衛隊の潜水艦が、その命を奪う結果となったことは残念であり、日々の繁忙からひとときの憩を求めてこの惨事にあわれた方々はお悔やみを申し上げる次第です。連絡の遅れ、救助活動の不手際等々事後の対応についても多くの批判や問題が指摘されています。事故の真相原因はわかりませんが、ただ素人目には、何故あの広い海の上で衝突したのか、緊急避難の措置がとれなかったのかと不思議に思われてなりません。いずれにしても、人間の瞬間的判断操作のミスが大惨事を招くことを改めて思い知らされた大事件でした。

▽交通死亡事故は、今年に入って異常なペースで発生しています。命の大切さを自覚し安全意識を高めるよう努めたいと思います。

# おせん一家



## 高齢者交通安全マーク

シルバー及びセフティの頭文字「S」を鶴のイメージにデザイン化し、道をも暗示すると共に美しい自然の中をいつまでも若々しく健康で交通安全を願う姿がシンボライズされたものです。



# 高齢者の交通安全旬間

## 9月11日から 9月20日まで実施

近年高齢者の交通事故が増加傾向にあることから、国民に高齢者に対する交通安全意識を醸成させ、高齢者の交通安全知識の普及と安全思想を高揚し、正しい交通ルールとマナーの実践を習慣付けて交通事故を防止する目的で、九月十一日から九月二十日までの十日間、全国一斉に「高齢者交通安全旬間」を実施することになりました。

### 交通安全死亡事故多発非常事態宣言

交通事故をなくし、安全で快適な地域社会を実現することは、県民すべての切実な願いであります。このため、本県では交通安全対策を県政の重要施策として、関係機関・団体の御協力のもとに県民総ぐるみで取り組んでまいりました。

この最悪の状態から一日も早く脱し、交通事故絶滅の願いをこめて、ここに交通安全死亡事故多発非常事態を宣言します。

山梨県知事 望月 幸明  
昭和六十三年七月九日

交通安全旬間を強力に推進することになり、県交通安全対策本部が決めた旬間のテーマと重点目標は次のとおりです。

- 一 テーマ  
「高齢者の交通安全ゼロをめざして」
- 二、重点目標  
1 高齢者の交通安全に関する県民の意識の醸成
- 2 高齢歩行者、高齢自転車の交通安全確保
- 3 高齢運転者の交通事故防止

## ストップ・ザ・交通死亡事故

### 非常事態を宣言し緊急対策を發動

7月9日  
8月31日

本年の県内における交通死亡事故が異常なペースで発生しているため、これに歯止めをかけるために、七月九日、県知事、市長、町村長、警察本部長の四者協議を行い緊急対策を決定し、知事室において望月知事が「交通死亡事故多発非常事態」を宣言して、県下市町村長、関係機関に対し防犯行政無縁で緊急対策の実施を要請しました。



交通死亡事故多発非常事態宣言大会

県議会（堀内一男議長）では、県内の交通死亡事故が多発している厳しい情勢を踏まえて、七月十二日山梨県議会本会議において、別記の「交通死亡事故根絶に関する決議」を満場一致で採択しました。

県交通安全推進協議会は、これをうけて決議の趣旨を徹底し、関係機関・団体等

に対して今後の交通安全対策の推進におよぶ一層の尽力を要請しました。

しかしながら、本年上半期における県内の交通死亡事故は、関係機関の必死の努力にもかかわらず減少の気配すらなく、いまだ増加率では全国の上位にランクされ、極めて憂慮される状況にある。

かかる事態に鑑み、本議会では、県民とともに一丸となって交通死亡事故根絶のために邁進し、関係機関のより一層の努力はもとより、家庭、学校、職場、地域など県民総ぐるみで交通安全対策への取り組みを求め、もって、取り組みをいふるさと山梨の実現を期するものである。

昭和六十三年七月十二日  
山梨県議会

## 新規購入 映画の紹介

一、安心ドライブ・広がる世界  
—豊かなシルバークロニカ—  
エイジのために  
16ミリ、カラー、22分  
高齢運転者向  
ちかごろ、お年寄りのドライバーが起す事故がふえています。いっそう発展する「くるま社会」の中でシルバークロニカこそ安全運転の根本を示してほしものです。

この映画は、タレントの荒井注さんに登場してもらい、自ら運転し運転適性検査やシミュレーターでの模

擬運転を通して自らの運転特性を知り、安全運転のコツを教わっていただきます。

二、かノミニバイク  
16ミリ、カラー、20分  
二輪ライダー向  
ミニバイクは手軽で便利ですが事故には無防備です。また一部には、自転車の延長と考えて安全ルールを軽視することも事故につながっています。

この映画は、ベテランライダーと初心者ライダーを比較しながらミニバイクの特性や運転技術を習得し、また、交差点の安全のために法の改正で場所によって「交差点二段階右折」を訴えています。

## 第30回県中学生交通安全弁論大会

10月25日に開く

県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社主催の「第30回山梨県中学生交通安全弁論大会」は十月二十五日（火）午前十時から甲府市飯田二丁目NHK甲府放送局第一スタジオで開かれます。

この大会は、交通安全思想を高めて交通事故を防止するために行われ、大会には、秋の全国交通安全運動等の機会に、各警察署単位に行われる地区予選大会で選ばれる選手が出場して弁論を競います。

## 交通教室

昨年十二月甲府市朝日町通りに買物や仕事などで来る人のために、パーキング・チケット機（駐車券の自動販売機）一基駐車券両八台分を設置し、今年四月に甲府市役所北側の通りに一基七台分を設置して皆さんに利用していただいています。

また、七月九日からは朝日町通りの北側に一基七台分を設置運用し、近く南側に一基七台分を新設し、朝日町通りだけで二十二台の車を駐車することができるようになります。

事故や渋滞の原因となる違法駐車は警察の取締りにより排除されていますが、とくに甲府市内では一回の取り締まりで違反検挙者八十八人、そのうち長時間駐車や危険妨害駐車としてレッカーで移動される車は六十台前後に達しています。

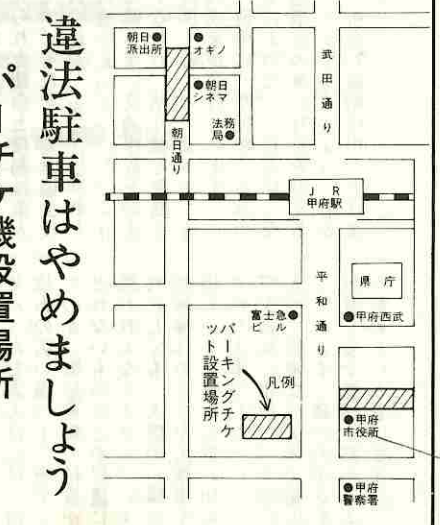
また、七月九日からは朝日町通りの北側に一基七台分を設置運用し、近く南側に一基七台分を新設し、朝日町通りだけで二十二台の車を駐車することができるようになります。

の時間帯に駐車すると駐車違反になるので注意してください。

パーキング・チケット機を利用するときは次のことを守ってください。

- 一、パーキング機へ二〇〇円を入れてチケットを買った場合、このチケットは必ず車の前面ガラスの内側からはりつけてください。チケットが掲示されていないと違法駐車になります。
- 二、白線わくの中にキチンと駐車してください。
- 三、制限時間（四十分間）を超えて駐車しないでください。
- 四、チケットを買いなおし、同一場所に継続して駐車できません。
- 五、短い時間の駐車でもチケットを買って指定場所に駐車してください。

快適な交通環境をつくるためにもご協力をお願いします。



違法駐車はやめましょう  
パーキング機設置場所

自動車や原付自転車にはとを  
任意の自賠責保険を  
つけましよう。

損害保険代理店  
株式会社 たいよう共済山梨支店

甲府市丸の内2丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL 0552-28-0691



二輪車安全運転県大会でコーナリングの技を競う

# 交通死者大幅に増える 増加率全国ワースト2位 夜間事故が71.2%

## ことし上半期の 県内交通事故

交通事故発生状況 (6月30日現在)

| 区分  | 発生件数  | 死者数    | 傷者数   |
|-----|-------|--------|-------|
| 62年 | 2276  | 39     | 3046  |
| 63年 | 2398  | 59     | 3093  |
| 増減  | +122  | +20    | +47   |
| 率   | +5.3% | +51.2% | +1.5% |

本年上半期の交通事故は、全国(概数)では発生二万八千二百二十四件(前年比〇・九%増)、死者四千七百八十人(同二・七%増)、傷者三十四万三千七百四十九件(同〇・九%増)といずれも増加し、とくに死者は四百九十四人増加して、前年より二十日も早いペースです。

県内の交通事故は、発生二千三百九十八件(前年比

### 6月末における死者数の年別推移

| 区分  | 6月末の死者数 | 年間死者数 | 免状人口(12月現在) | 車両数(12月末現在) | 台数      |
|-----|---------|-------|-------------|-------------|---------|
| 58年 | 66      | 128   | 388,163     | 391,157     | 391,157 |
| 59年 | 44      | 103   | 399,126     | 408,901     | 408,901 |
| 60年 | 49      | 122   | 410,103     | 425,764     | 425,764 |
| 61年 | 54      | 109   | 422,067     | 445,092     | 445,092 |
| 62年 | 39      | 106   | 433,274     | 465,687     | 465,687 |
| 63年 | 59      | 128   | 439,155     | 473,473     | 473,473 |

(63年の免許人口・車両台数は5月末現在)

五・三%増)、死者五十九人(同五・二%増)、傷者三千九百三十三人(同二・五%増)で、昨年と比べて件数は百二十二件、死者は二十人、傷者は四十七人と大幅に増加しています。

交通事故死者は、発生五十六件(十九件、五・三%増)、死者五十九人(二十人、五・二%増)で、死者数の昨年との増加率は全国ワースト2位で、昨年より七十六日早いペースで多発し、また、人口十万人

当りの死者数は七、〇一人で全国ワースト3位となっています。

死者増加の要因は、夜間事故や無謀運転、とくに若者による自爆型事故の増加が目立ちますが、その要因とみられ、初心者を含む運転者教育の強化が求められます。

交通死亡事故の特徴はつきのとおりです。

一、夜間に多数が発生している。

二、自爆型事故が多い。

三、若者と高齢者の死者が多い。

四、週末型事故が多い。

五、無謀運転による死亡事故が過半数。

六、歩行者の被害が急増。

七、歩行者の被害者が三月末までに五人、以降七人で急増しています。

八、このまま推移すると年間死者二桁以下の目標はおろか、前年の死者を上回ることを予想されるので、県警察では、交通安全意識を高揚するために、シートベルト着用等の徹底、若者ドライバーの組織化と交通安全教育の徹底、高齢者の

## 二輪車安全運転県大会

### 105人が腕を競う 全国大会で団体5位入賞

県交通安全協会と県二輪車安全運転推進委員会主催の第十八回二輪車安全運転大会は、六月二十六日、八田村の運転免許センターで開かれました。

大会には、女性・高校生(一二五cc以下)、一般A(四〇〇cc以下)、一般B(四〇〇ccをこえるもの)の各クラスに百五十人の選手が出場して、カーブや横断歩道の安全通行などの法規履行とマナーを主とした安全走行と傾斜地や千鳥走行などの技能走行八種目に技を競いました。

この大会は、二輪車の安

全運転技術と交通道徳の向上を図って交通事故を防止するため、県警察本部交通部の指導と県二輪車安全普及協会などの協賛を受けて実施されましたが、今年には交通死亡事故が増加し、若者による二輪車事故も増加している中で事故防止の関心が高まり、また、二輪車の安全運転講習の影響もあって、前年を三十人余も上回る百五人の選手が参加し、とくに高校生クラスも学校側との理解と協力により、女学生を含む十五人が出場し、真剣に挑戦し注目されました。また、競技のあと、県

警交通機動隊員による白バイの模範走行と白バイ訓練車の体験走行を行い好評でした。

県大会で上位入賞した高野淳一(一般B)、荻本浩二(一般A)、小野治樹(高校生)、魚津久美子(女性)、生手は、八月六・七日の両日、三重県鈴鹿サーキットで行われた全国大会に本県代表選手として出場し、よく善戦健闘し、個人では、高校生クラスの小野選手が、高野選手に次いで、他の三選手も上位の好成績をおさめて、その結果、山梨県選手団は団体五位入賞の快挙

- を達成することができました。本県チームは、昭和五十六年団体優勝を果して以来、五十八年五位、六十年四位に入賞し、三年ぶりに再び上位に入賞したことは全国上位の実力を十分発揮したものと高く評価されています。
- 県大会の入賞者は次のとおりです。
- ◆女性クラス
    - 優勝 魚津久美子(甲府)
    - 準優勝 鈴木美穂(竜王)
    - 三位 穴水あけみ(竜王)
  - ◆高校生クラス
    - 優勝 小野 治樹(高根)
    - 準優勝 弦間 修(御坂)
    - 三位 伊藤麻貴子(山梨)
  - ◆一般Aクラス
    - 優勝 荻本浩一(竜王)
    - 準優勝 坂本栄樹(河口湖)
    - 三位 益山明久(甲府)
  - ◆一般Bクラス
    - 優勝 名取 繁明(白根)
    - 準優勝 高野淳一(甲府)
    - 三位 北野正貴(田富)



交通緊急対策発動を訴える田辺さん

## 目にあまる無謀運転

塩山市婦人交通指導員

田辺 国代

一億総ドライバー時代も間近といわれる今日、その裏に毎年必ず一万人前後の尊い人命が悲惨な交通事故によって失われ続けている。

その数たるやちよつとした戦争並みだといわれながら驚いてしまふ。特に今年には交通事故による死者が激増し、ついに非常事態が宣言され県民総ぐるみの交通死亡事故抑止運動が繰りひろげられている。

塩山市においても毎年事故件数は増加の一途をたどっている。特に夏休みに入ると交通事故の多発も予想されることから、児童生徒の交通事故防止のため夏休みに入る前に市内の小中学校に交通安全教室をもち、塩山市のスローガンである「我が家から悲惨な交通事故はだしません」を響い合せて、交通安全の実践を訴えてきた。日ごろの交通安全全指導の中で、交通事故を無くしていくためには交通安全教育において一人でも多くの人の対話を通して安全の意識を高めてもらう以外にないと感じている。婦人交通指導員として、多くの人々とのふれ合いの機会を大切にその使命感に、交通安全意識の高めの一層の努力をしていきたい。

近年県内の交通安全の悪さを指摘する声をよく聞かす。街頭で朝の通勤ラッシュ時、目にあまる無謀運転を見かける。集団登校時児童が横断歩道を渡り、スピードで走りぬけていく車、まさに「運転が示すあなたのお人柄」そのものである。

**交通安全**

## 年間スローガン募集

9月末締め切り

全日本交通安全協会と毎日新聞社は、次の要領により、昭和六十四年使用の交通安全年間スローガンを募集します。

【募集期間】昭和六十三年八月初旬から秋の全国交通安全運動最終日の九月三十日(金)まで(当日消印有効)

【募集部門】

- 一般からの募集
- 運転者(同乗者を含む)に対するもの
- 若者を中心とした無謀運転、シートベルト着用等の徹底、▽交差点での一時停止と安全確認
- ▽運転マナーの向上
- 歩行者・自転車利用者に対するもの
- 安全な横断の仕
- ▽安全な横断の仕
- ▽自転車の安全な乗り方
- ▽家庭の中からの交通安全
- 子どもからの募集
- 小・中学生自身に交通安全を呼びかけるもの

【応募方法】

- 一般：小・中学生を除く普通はがき一部門「スロー

いだいていという。それだけに交通事故は身近なものとなつていくが、中には自分だけの関係ないと思いがちな、ちよつとした油断があるのではないかと、特に関心する。自爆型事故も少なくない。各家庭においては、子供と夏休み中の交通安全の話し合いをして、子供の命を守るため特に交通事故の恐ろしさを感じて欲しい。

総理府の調査によれば毎日、交通事故にあひはしないかと三人に二人が不安を

【送先】東京中央郵便局私書箱三十八号(〒100-91) 毎日新聞社事業部「交通安全年間スローガン」係

【発表】昭和六十三年十二月初旬の毎日新聞紙上およびNHKテレビ、ラジオによる。

【表彰式】昭和六十四年一月十八日、最優秀者は第二十九回交通安全全国国民運動中央大会の席上。

【賞】

- 最優秀(計三) 内閣総理大臣賞状と賞金各十万円(ただし、子どもは本人に)
- 優秀(計三) 総務庁長官賞(計三) 賞状と賞金三万円(子どもは前に同じ)
- 警察庁長官賞(計三) 賞状と賞金三万円(子どもは前に同じ)
- 佳作(若干) 全日本交通安全協会賞状と賞金五千円(子どもは本人に商品



交通安全標語入選者を塩山商高校で表彰(塩山)

地区だより

高校生の交通安全標語優秀者を表彰(塩山)

塩山警察署では塩山安協と協力し、塩山商業高校が事故、違反ゼロ三カ月運動の行事として全校生徒から募集した交通安全標語の優秀者を表彰しました。

秀者を表彰しました。表彰式は七月十三日同校で行われ、優秀作品入選者に対し、署長賞と会長賞を贈って賞状、生徒代表が交通安全宣言文を読みあげて安全を誓いました。また、最優秀標語は懸垂幕にして校舎正面にかけて活用しています。

緊急対策パレードを実施(富士吉田)

富士吉田安協は、警察、交防協など関係団体と協力して交通安全パレードを実施しました。



緊急対策旗を掲げて交通安全パレード(富士吉田)



葦工高校で交通安全宣言をする生徒代表(葦崎)

頭を徒歩部隊や車両で管内全域をパレードしてドライバーや地域住民に交通安全を呼びかけました。

集会では両宮葦崎署長が交通安全講話をし、山梨安協会長から激励のあいさつを受け、交通安全の自覚を高め、生徒会長が交通安全を宣言しました。

二輪車に乗るときはヘルメットをかぶろう

高根東小Aが優勝

三年連続 十六回目 交通安全子ども自転車県大会

県警察本部と県交通安全協会主催の第十九回交通安全子ども自転車大会は、県交防協、県教委、父母連の後援を受けて、六月五日、昭和町立西条小学校で開かれました。

この大会は、小学校児童に対する自転車の安全教育の効果を高めるために、交通ルールと安全な乗り方を身につけて習慣化することにより、子どもの交通事故を防止することを目的に毎年行われているものです。

会を勝ち抜いたチームや推薦選手九十名が参加し、まず、交通規則、道路標識、自転車の安全な乗り方の常識などの学科テストに取り組み、続いて、交差点の右左折や踏切通過などの安全走行やデポコ道の通行などの技能走行の実技テストを行い、関係者の応援を受けながら緊張した空気の中で競技を展開しました。

連続十六回目の優勝を果し、個人では、高根東小Bチームの小林清志選手が優勝しました。各学校も自転車事故を防止するため、積極的に自転車安全クラブを結成するなど安全な乗り方を徹底しており、運動量の向上が自覚されています。



西条小学校で子供自転車大会開く

- 優勝 高根東小学校A
準優勝 高根東小学校B
三位 吉田小学校
四位 万沢小学校
五位 西条小学校
六位 須玉小学校
七位 吉田小学校
八位 御坂小学校
九位 上野原小学校
十位 山中西一(吉田西)

交通安全標語を募集

山梨ブロック協議会

山梨ブロック協議会(大芝孝二会長)では、全県下の小中学生を対象に交通安全の標語を募集し、応募総数は五万点余りを数えました。学校や家庭において交通安全の話し合いをして交通安全の意識の高揚の中から素晴らしい標語が寄せられました。最優秀標語は秋の交通安全運動期間中、甲府ステーションビルに懸垂幕として掲げ、運転者向けと歩行者・自転車向けの最優秀標語はステッカーにそれぞれを作成して配布することとしています。

運転経歴証明書の手数料改定のお知らせ

各種の表彰申請や就職などに際して皆様がいつもご利用されている運転経歴証明書の手数料が、このたび諸物価高騰などの影響により、つぎのように改定されることとなりますが、何卒従前とかわらず、ご利用下さるようお願いいたします。

Table with columns: 区分, 内容, 備考. Lists fees for driving license certificates.

自動車安全運転センター山梨県事務所 (Tel 0552-85-2344・2345)

安全運転管理者講習が始まります

公安委員会が行う安全運転管理者、副安全運転管理者に対する本年度の講習が次のとおり行われますのでお知らせします。(昭和63年度)

安管講習日程表

Table with columns: 講習地区, 対象数, 月日, 会場. Lists training schedules for safety managers.

★改装した新しい広いコースで、全車種(普通、自二、けん引、大特、二種免許)の免許取得を！ 早朝、夕方、日曜その他生活条件に合わせた教習を！

財団法人 山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島 1828 TEL (0552) 85-0752

許証 田富小学校三年 前野直子さん 山梨県交通安全協会会長賞 小さな手で大きく挙げて右 櫛形北小学校六年 田中亜矢さん 山梨日日新聞社社長賞 山梨県交通安全協会会長賞 山梨ブロック協議会会長賞 山梨自動車学校二年 佐藤昌司君 カル鴨も並んで渡る横断歩道 増穂小学校五年 八橋佐知さん